

幸田町地球温暖化対策実行計画（第2次計画）の進捗状況

1 実行計画概要

- (1) 根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3
 (2) 計画期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
 (3) 対象範囲 町が行う全ての事務事業。ただし、削減目標非設定施設は、次のとおり。
 指定管理者制度施設を除く外部に委託する事務事業や公社・法人等
 例えば、社会福祉協議会、シルバー人材センター
 (4) 削減目標 平成24年度温室効果ガス排出量を平成30年度に3.8%削減

5,241 t-CO₂  5,040 t-CO₂

2 平成30年度実施状況

平成21年度に策定した幸田町地球温暖化対策実行計画の第1次計画については、平成25年度で終了しました。このため、期間を平成26年度から平成30年度とした第2次計画を平成26年度に策定しました。第2次計画では、対象となる施設を拡大し、基準年度の平成24年度から温室効果ガス排出量を3.8%削減する目標を立てています。

平成30年度の温室効果ガス排出量は、5,046 t-CO₂となり、目標数値である5,040 t-CO₂に0.1%届きませんでした。第2次計画の目標が達成出来なかった要因としては、A重油の温室効果ガス排出量が基準年度と比較して増加していることが考えられます。A重油を使用している町民会館と町民プールの改修の際には、省エネ改修を推進していきたいと考えています。

		基準年度							
温室効果ガス排出量		平成24年度	目標数値（平成30年度）	平成30年度					
合 計 t-CO ₂		5,241	5,040	5,046					
(対H24年度比)		(100.0%)	(96.2%)	(96.3%)					
排出要因別内訳				H24年度比		H24年度比			
電 気	使 用 量 kwh	8,226,157.0	7,900,852.9	96.0%	7,817,827.0	95.6%	73.1%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	3,858.1	3,705.5		3,690.0				
A重油	使 用 量 ℓ	236,000.0	224,206.6	95.0%	245,000.0	103.8%	13.2%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	639.6	607.6		664.0				
LPガス	使 用 量 m ³	136,654.8	136,654.8	100.0%	125,304.1	91.7%	7.4%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	410.0	410.0		375.9				
ガソリン	使 用 量 ℓ	43,726.5	40,180.9	92.0%	41,261.8	94.4%	1.9%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	101.4	93.3		95.8				
軽油	使 用 量 ℓ	47,793.2	44,711.7	93.6%	44,051.6	92.2%	2.3%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	125.2	117.1		115.4				
灯油	使 用 量 ℓ	42,860.0	42,860.0	100.0%	42,221.0	98.5%	2.1%		
	温室効果ガス排出量 t-CO ₂	106.7	106.7		105.1				

※ 温室効果ガス排出量の算出に用いる電気の排出係数は、中部電力の排出係数で計算しています。